

丹波焼の美

The Beauty of
Tamba Ware

開館20周年記念特別展



《灰釉四耳壺》
江戸時代前期(17世紀)



《色絵桜川文徳利》
江戸時代後期(19世紀)



《赤土部徳利》
江戸時代前期(17世紀)



《壺 銘「狸々」》(部分)
鎌倉時代(13世紀)

— 田中寛コレクションを中心として —

2025.
12.6(土) → 2026.
2.23(月・祝)



《壺》
室町時代中期(15世紀)



《色絵立鶴文徳利(一対)》
江戸時代後期(19世紀)



〔休館日〕月曜日、12月31日(水)、1月1日(木・祝)
(ただし、1月12日(月・祝)、2月23日(月・祝)は開館し、1月13日(火)は休館)
〔開館時間〕10:00～17:00 ※入館は開館の30分前まで
〔観覧料〕一般700円(600円)、大学生600円(400円)、高校生以下無料
※()内は、20名以上の団体割引料金です。※70歳以上の方は半額になります。
※障がいのある方は75%割引、その介助者1名は無料になります。
〔主催〕兵庫陶芸美術館、丹波新聞社
〔後援〕兵庫県、兵庫県教育委員会
〔協力〕丹波立杭陶磁器協同組合



土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今田町上立杭4 TEL 079-597-3961 <https://www.mcart.jp>

※所蔵はすべて兵庫陶芸美術館。なお、《灰釉四耳壺》以外は(田中寛コレクション)兵庫県指定重要有形文化財。



《壺「布引」》室町時代前期(14世紀)



《甕》室町時代前期(14世紀)



《灰釉手桶形水指 銘「日本海」》江戸時代前期(17世紀)



《茶入》江戸時代前期(17世紀)

開館20周年記念特別展

丹波焼の美

The Beauty of
Tamba Ware

— 田中寛コレクションを中心として —



《白地桔梗形鉢》江戸時代後期(19世紀)



《辰砂傘徳利》江戸時代後期(19世紀)



《栗皮袖徳利》江戸時代後期(19世紀)



《石黒軸釘彫梅鶯文徳利》江戸時代中期(18世紀)

※所蔵はすべて兵庫陶芸美術館。なお、《甕》、《栗皮袖徳利》以外は(田中寛コレクション)兵庫県指定重要有形文化財。

兵庫陶芸美術館は、全但バス株式会社社長の田中寛氏(1904～81)が収集した丹波焼(丹波篠山市など)と兵庫県内産の陶磁器のコレクションを引き継ぎ、2005年、丹波焼の里に開館しました。

丹波焼は、平安時代末期に常滑焼(愛知県)など東海地方の窯業技術を取り入れて操業を開始し、中世には壺・甕・播鉢を中心に無釉の焼締陶器を生産しました。この時期に作られたものは、焼成によって茶褐色に発色した土肌や窯の中で燃料の薪の灰が器肌に降りかかり、それが溶けてガラス化することによって現れた鮮緑色の自然釉が見どころとなっています。

近世には、窖窯から登窯へと窯の構造が転換し、土部の塗布や釉薬の施釉など、多彩な装飾技法を取り入れて色鮮やかな世界を展開しました。江戸時代前期には、窯の中の温度や炎の勢いによって赤茶色に発色する赤土部や緑がかかった褐色の灰釉が器面を彩りました。江戸時代中期には、茶色の栗皮釉や漆黒の石黒釉が生み出されました。また、江戸時代後期には、精緻な薄手の器に白土を塗した白丹波が作られました。各時代の求めに応じて変化してきた丹波焼は、2017年に日本六古窯の一つとして日本遺産に認定され、2018年には田中寛コレクションの丹波焼が兵庫県指定重要有形文化財に指定されました。

本展は、開館20周年を迎えるにあたり、当館のコレクションの母胎である田中寛コレクションを中心として、氏が情熱を注いで現代に受け継いだ丹波焼を紹介し、その魅力に迫ります。

ワークショップ 「小壺を作ろう」

日時:2月21日(土) 10:00～15:00

場所:当館エントランス棟1階 工房

※事前申込制(有料、定員20名、応募者多数の場合は抽選)

※応募締切 1月28日(水) 16:00必着

ギャラリートーク 「当館学芸員による展示解説」

日時:12月20日(土)、1月10日(土)、2月14日(土)

いずれも11:00から1時間程度

※観覧券が必要です。

※各イベントに関する詳細は、お問い合わせください。

同時開催のテーマ展 丹波焼の世界 season9 開催中～2026年2月23日(月・祝)

次回特別展 This is SUEKI 一古代のカタチ、無限大! 2026年3月20日(金・祝)～6月14日(日)

交通案内

【鉄道・バスをご利用の場合】○JR福知山線「相野駅」下車(大阪駅から約50分) 駅前からウイング神姫(路線バス)「兵庫陶芸美術館」「こんだ薬師温泉」または「清水寺」行き乗車約15分、「兵庫陶芸美術館」下車 ※相野駅発バス時刻/9:33、10:15、13:10、15:45、16:45、土・日・祝は10:47、11:36、13:41が増便(2025年8月現在) 【自動車をご利用の場合】○舞鶴若狭自動車道:三田西ICから約15分、または丹南篠山ICから約20分 ○中国自動車道:滝野ICから国道372号を東へ約30分 ○阪神方面から国道176号を北上し、三田市四ツ辻信号を左折約15分 ○駐車場無料(敷地内 普通車58台分)、大型可 【その他】○無料貸出有(車椅子4台、ベビーカー2台)



土と語る、森の中の美術館

兵庫陶芸美術館
The Museum of Ceramic Art, Hyogo

〒669-2135 兵庫県丹波篠山市今町上立杭4
TEL 079-597-3961
https://www.mcart.jp

